

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	高温高压中性子実験で拓く地球の物質科学	
領域代表者名	八木 健彦 （東京大学・物性研究所・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、高温高压下の散乱実験に最適化した中性子ビームラインと、上部マントルの温度圧力領域をカバーする大型高温高压実験装置を開発・建設することにより、水を含んだ地球深部物質の物質科学研究を強力に推進し、地球深部構造の飛躍的解明を目指すものである。明確な目的に向けて堅実な研究計画が設定されており、J-PARC の稼動によって利用可能となる中性子ビームを用いる有望な研究である。準備も周到に行われており、若手研究者を中心とした活力ある研究の進展が期待される。</p>		